

令和8年6月11日

## 法人企業景気予測調査

【兵庫県下の調査結果概要（令和8年4～6月期調査）】

～ 景況感の現状判断は、「下降」超幅が拡大 ～  
物価上昇が継続している中、中東情勢の影響の声も聞かれた

## 1. 企業の景況 ※景況判断BSI：前期比「上昇」－「下降」社数構成比

- 現状判断（8年4～6月）は、全産業で▲14.8%ポイントの「下降」超（10期連続）。  
▲5.3 ⇒ ▲1.2 ⇒ ▲11.1 ⇒ ▲9.6 ⇒ ▲4.1 ⇒ ▲8.4 ⇒ ▲6.3 ⇒ ▲14.8  
(R6.7～9) (R6.10～12) (R7.1～3) (R7.4～6) (R7.7～9) (R7.10～12) (R8.1～3) (R8.4～6)
- 製造業では、▲21.1%ポイントの「下降」超（6期連続）。
  - ・鉄鋼、石油・石炭など、ほとんどの業種で「下降」超となっていることから、全体では「下降」超となっている。
- 非製造業では、▲9.7%ポイントの「下降」超（14期連続）。
  - ・運輸・郵便などが「上昇」超となっているものの、卸売、娯楽などが「下降」超となっていることから、全体では「下降」超となっている。
- 先行きについては、全産業でみると、令和8年7～9月期は「下降」超で推移し、令和8年10～12月期は「上昇」超に転じる見通し。

## 2. 雇用 ※従業員数判断BSI：期末判断「不足気味」－「過剰気味」社数構成比

- 現状判断（8年6月末）は、全産業で36.0%ポイントの「不足気味」超（59期連続）。
  - ・製造業では、輸送用機械、化学など、ほとんどの業種で「不足気味」超となっていることから、全体では「不足気味」超（30.5%ポイント）となっている（20期連続）。
  - ・非製造業では、運輸・郵便、建設など、ほとんどの業種で「不足気味」超となっていることから、全体では「不足気味」超（40.7%ポイント）となっている（59期連続）。

## 3. 売上高・経常利益 ※対前年度増減率

- 8年度の売上高は、全産業で4.1%の増収見込み。
  - ・製造業では、業務用機械などが減収となるものの、食料品、鉄鋼などが増収となることから、全体では4.6%の増収見込みとなっている。
  - ・非製造業では、運輸・郵便、小売など、ほとんどの業種で増収となっていることから、全体では2.9%の増収見込みとなっている。
- 8年度の経常利益は、全産業で▲26.4%の減益見込み。
  - ・製造業では、食料品などが増益となるものの、情報通信機械、輸送用機械などが減益となることから、全体では▲16.7%の減益見込みとなっている。
  - ・非製造業では、小売などが増益となるものの、運輸・郵便、不動産などが減益となることから、全体では▲40.7%の減益見込みとなっている。

## 4. 設備投資 ※対前年度増減率

- 8年度の設備投資は、全産業で19.4%の増加見込み。
  - ・製造業では、食料品などが前年度を下回っているものの、鉄鋼、輸送用機械などが前年度を上回っていることから、全体では30.4%の増加見込みとなっている。
  - ・非製造業では、電気・ガス・水道などが前年度を上回っているものの、運輸・郵便、不動産などが前年度を下回っていることから、全体では▲6.0%の減少見込みとなっている。

## 景況感等に関する企業の声（ヒアリング結果）

### 【製造業】

#### （景況感）

- 鉄鋼や石炭について仕入れは滞っていないものの価格が上昇している。また、原油不足で燃料費が高騰している。（鉄鋼、大企業）
- 車両用潤滑油の原料が入荷しづらくなっており、業務に支障が生じている。（石油・石炭、中小企業）
- 建築資材が不足していることもあり、住宅の建築が進まず、工務店からの注文も減少している。（木材、中小企業）
- オイルや溶剤関係の値段が上がっているが何とか入荷できている。価格転嫁しても取引先からの需要が強い  
ため、利益も確保できている。（石油・石炭、中小企業）
- 製造工程で使用する薬品や洗浄用アルコール等は当面在庫で対応できる見込みのため経営に与える影響は限  
定的だが、長期化に備えて対策を検討している。（情報通信機械、大企業）
- 世界的に半導体の需要が活況となっている。（情報通信機械、中堅企業）

#### （雇用）

- 特定の職種というわけではなく全般的に人手が不足気味にあり、募集を行っても十分な人数が集まらない。（輸  
送用機械、大企業）
- 現場の営業スタッフ等を中心に全般的に不足しており、募集しても十分には集まらない。（化学、大企業）

### 【非製造業】

#### （景況感）

- コーヒー豆の価格が高騰し、顧客に買い控えの傾向が見られるほか、包装紙が値上がりしている。（卸売、中  
堅企業）
- 石油化学製品などが調達しづらくなっており、仕入価格が高騰して収益を圧迫している。（卸売、中小企業）
- 物価高騰を踏まえて施設の利用料金を引き上げたところ、客数が減少した。（娯楽、中小企業）
- 中東向けが当初計画より落ち込んでいるものの、前期に比べて円安傾向であるため、増益を見込んでいる。  
（運輸・郵便、大企業）
- 燃料の価格が上昇しているが、補助金と価格転嫁によりカバーできているため、目立った影響は生じていな  
い。（運輸・郵便、大企業）

#### （雇用）

- 主に施設の係員、現場の技術作業員が不足している。少子化に加え進学率の上昇により高卒採用が困難にな  
り、キャリア採用へ募集を変更した。（運輸・郵便、大企業）
- 各部門で不足気味であり、募集はかけているがなかなか集まらない。（建設、中堅企業）